

車いす収納装置

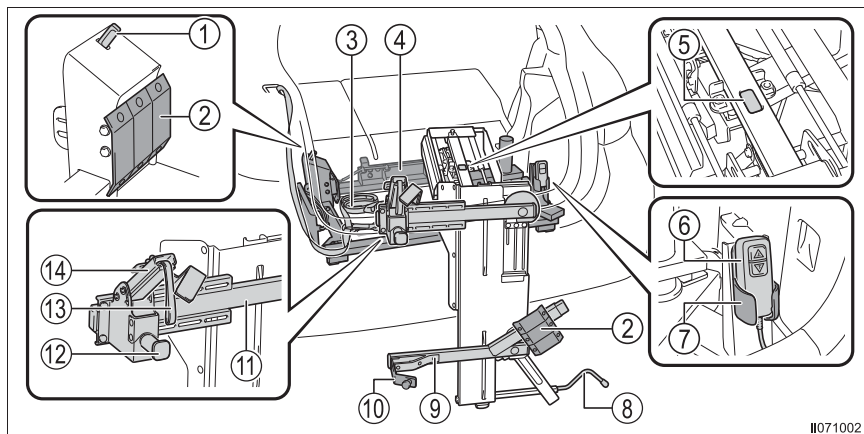
1

- 1-1. 各部の名称
 - 車いす収納装置の各部の名称8
- 1-2. 準備
 - 車いす収納装置の調整 10
 - 車いす固定ベルトの
 - 取り付け..... 12
 - 車いす固定ベルトの調整 15
- 1-3. ご使用前に確認して
いただきたいこと
 - ご使用前に確認して
いただきたいこと 16

車いす収納装置の各部の名称

車いす収納装置は 35kg までの車いすを搭載することができ、車いすのラゲージルームへの出し入れを補助します。

車いす収納装置



11071002

- | | |
|---|-------------|
| ① ストッパー | ⑦ リモコンホルダー |
| ② 小径タイヤ用補助プレート
使用しないときはストッパー部に取り付けてください。取り付けについてはトヨタ販売店にご相談ください。 | ⑧ 操作ハンドル |
| ③ 車いす固定ベルト | ⑨ 大車輪固定アーム |
| ④ ベースフレーム | ⑩ 大車輪ストッパー |
| ⑤ ベルト確認用窓 | ⑪ 車いす吊上げアーム |
| ⑥ 操作スイッチ | ⑫ 車いす吊上げフック |
| | ⑬ ストラップ |
| | ⑭ 車いす開き防止バー |

操作スイッチ

操作スイッチで車いす収納装置のスライドおよび上昇・下降の操作ができます。

① 「上」 スイッチ

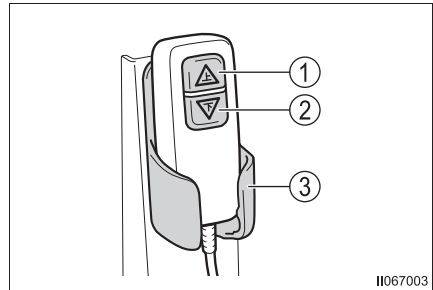
車いす収納装置を右にスライドさせることと、上昇させることができます。

② 「下」 スイッチ

車いす収納装置を左にスライドさせることと、下降させることができます。

③ リモコンホルダー

操作しないときは、スイッチ面を表向きにして、リモコンホルダーにもどします。



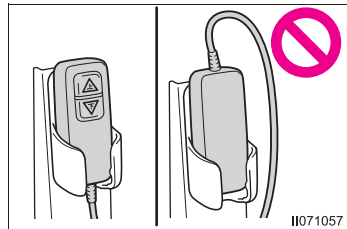
警告

■ 操作スイッチを収納するときは

操作スイッチを使用しないときは、リモコンホルダーに正しい方向で収納してください。

リモコンホルダー以外の場所に収納したり正しい方向で収納しないとスイッチが押され、車いす収納装置が思わぬ動きをして重大な事故につながるおそれがあり危険です。

また、操作スイッチの上に荷物などが置かれていないことも確認してください。



車いす収納装置の調整

お使いの車いすに合わせて、各部を調整してください。
調整についてはトヨタ販売店にご相談ください。

◆ 小径タイヤ用補助プレート

お使いの車いすの後輪が小さい場合、取り付けが必要になります。

◆ 大車輪固定アーム

お使いの車いすの後輪のサイズに合わせて調整をしてください。

◆ 吊上げアーム

お使いの車いすに合わせて調整をしてください。

◆ 車いす吊上げフック

お使いの車いすに合わせて調整をしてください。

◆ 車いす開き防止バー

お使いの車いすが固定される位置に合わせて調整をしてください。

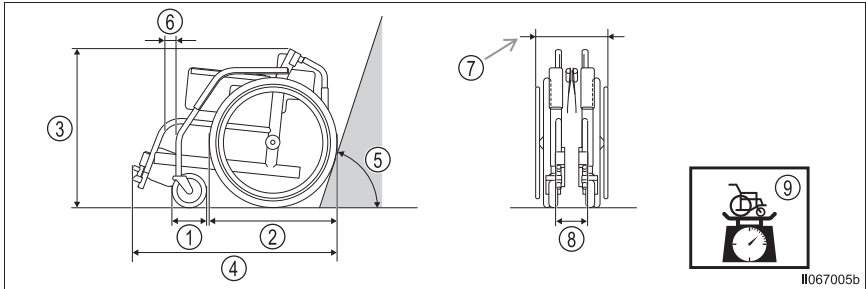
◆ 車いす固定ベルト

→ P. 12, 15

知識

■ 収納可能な車いすのサイズ

車いす収納装置で収納可能な車いすのサイズになります。



①	キャスター径	4～7インチ
②	大車輪径	14～24インチ
③	全高※1	700mm以下
④	全長※2	990mm以下
⑤	角度※3	70°
⑥	車いす前側フレーム間距離	60mm以上
⑦	折りたたみ幅	360mm以下
⑧	車いす前側フレーム幅	160mm以下
⑨	重量	35kg以下

※1 全高は車いすの手押しハンドルをたたんだ状態の寸法です。

※2 全長は車いすの手押しハンドルと転倒防止バーをたたんだ状態の寸法です。

※3 角度の中に車いすが入っている場合、車いすをセットするときに地面にあたるおそれがあります。(→ P. 31)

■ 車いす収納装置の再調整について

次の場合は車いす収納装置の調整が必要になります。
再調整についてはトヨタ販売店にご相談ください。

- 異なる車いすにかえたとき
- 車いすがガタついたりなどして、セットがうまくできないとき

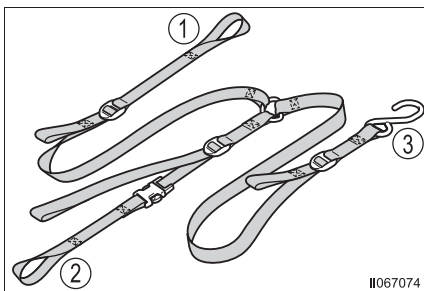
車いす固定ベルトの取り付け

車いす固定ベルトが車両に取り付けられていない場合は、以下の手順で取り付けてください。

車いす固定ベルトを車両へ取り付けるときは

- 1 リヤシートの背もたれを前に倒す（→標準車取扱書の『リヤシート』）
- 2 車いす収納装置を車外に出す（→P. 24）
- 3 車いす固定ベルトをラゲージルームから取り出す

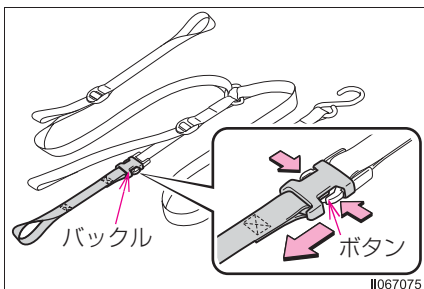
- ① 左側
- ② 中央
- ③ 右側



II067074

- 4 中央の車いす固定ベルトを分離させる

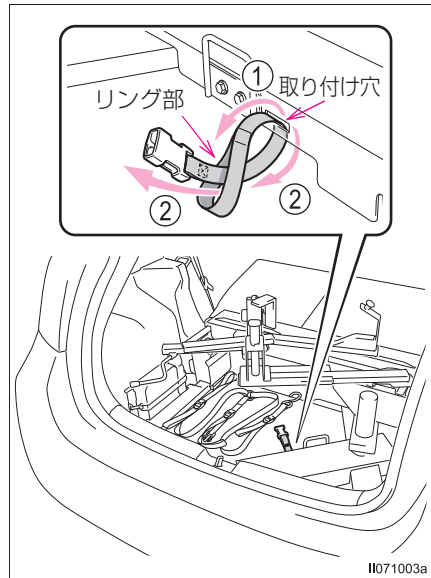
- ・バックルのボタンを押してロックを解除してください。
- ・分離させた車いす固定ベルトは、デッキボードの上に置いてください。



II067075

- 5 バックル側の中央の車いす固定ベルトを車いす収納装置に取り付ける

- ① 車いす固定ベルトのリング部を車いす収納装置の取り付け穴に通す
- ② 車いす固定ベルトをリング部に通して引っ張り、確実に取り付ける

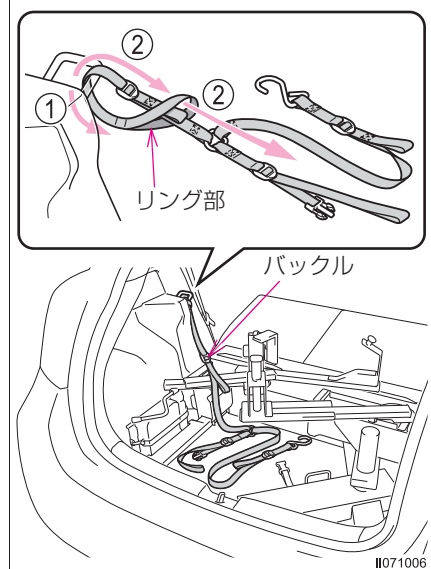


- 6 左側のリヤシートの背もたれ固定フックに、左側の車いす固定ベルトを取り付ける

- ① 車いす固定ベルトのリング部を、左側のリヤシートの背もたれ固定フックに通す
- ② 車いす固定ベルトをリング部に通して引っ張り、確実に取り付ける

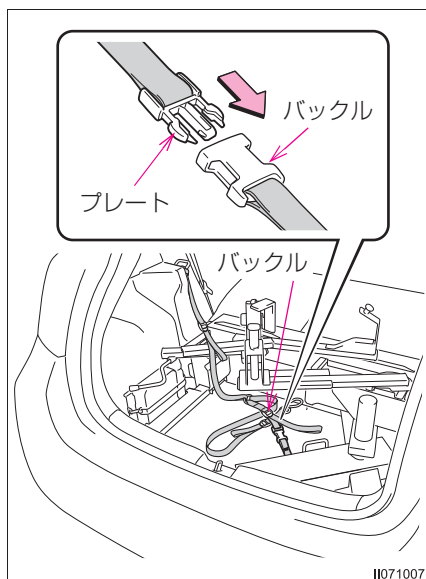
バックルが表側を向いていることを確認してください。

バックルが裏側を向いている場合は、車いす固定ベルトの取り付けをやり直してください。



7 中央の車いす固定ベルトを結合させる

- ・ プレートバックルに挿し込みロックしてください。
- ・ 中央の車いす固定ベルトにねじれないことと、バックルが表側を向いていることを確認してください。
ベルトのねじれやバックルが裏側を向いている場合は、車いす固定ベルトのロックをやり直してください。



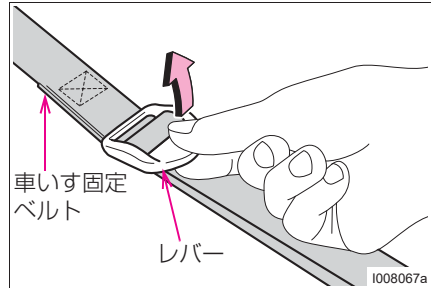
車いす固定ベルトの調整

お使いの車いすに合わせて、車いす固定ベルトの長さを調整してください。

車いす固定ベルトを調整するときは

1 車いすを車内に収納する (→ P. 24)

2 すべての車いす固定ベルトのバックルのレバーを引き上げ、ベルトをゆるめる

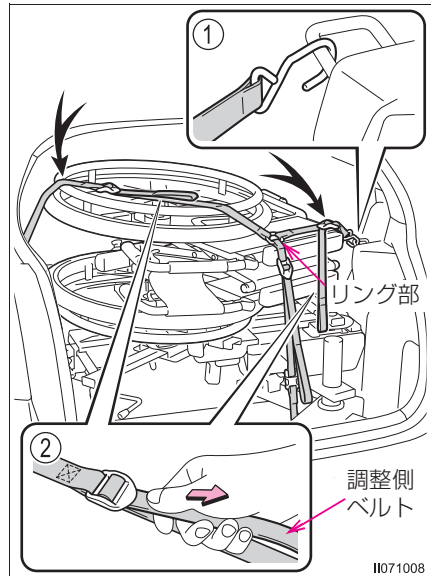


3 車いす固定ベルトの長さを調整する

① 車いす固定ベルトのフックを右側のリヤシートの背もたれ固定フックに引っかける

② 右側と左側の車いす固定ベルトの調整側ベルトを引っ張り、長さを調整する

- ・ 車いすが確実に固定できる位置にベルトの長さを調整してください。(→ P. 30)
- ・ 車いす固定ベルトのリング部が、車いすのハンドリムにあたっていないことを確認してください。



ご使用前に確認していただきたいこと

この項目では、車いす収納装置を使用するにあたって、知っておいて頂きたいことや、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

車いす収納装置を使用する前に

- ご使用前に、お使いの車いすに合わせて調整をしてください。(→ P. 10)
- お使いの車いすに合わせて、車いす固定ベルトの長さを調整してください。(→ P. 15)
- 操作はすべて介助の方が行ってください。

収納可能な車いすについて

- 35kg までの車いすを搭載することができます。(→ P. 11)
- 車いすを収納する前に、収納可能な車いすの条件を満たしていることを確認してください。(→ P. 11)
- 電動車いすを収納する場合は、必ず電動車いすのバッテリーを取りはずしてください。(→ P. 18)

知識

■ バックドアについて

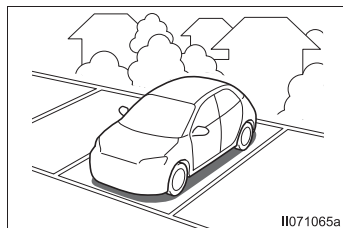
全開にしないと、車いす収納時、バックドアと車いすが干渉し、車いすの収納が困難になります。

警告**■ 車いすを収納・固定するとき**

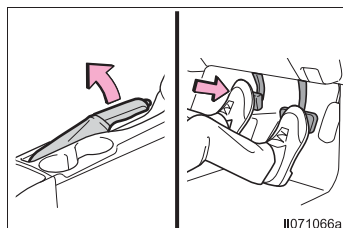
必ず平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバー／シフトポジションを P の位置にしてください。

車いすが傾いて体や車体にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

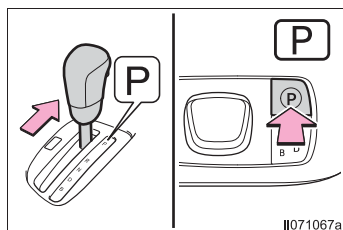
- 平坦な場所で操作



- パーキングブレーキを確実にかける



- シフトレバー／シフトポジションを P の位置にする



 **注意****■ 損傷を防ぐために**

車いす収納装置を操作する前に次のことを確認してください。

お守りいただかないと、車いすの収納が困難になるばかりでなく、荷物や車いすを損傷するおそれがあります。

- 作動範囲内に荷物などが置かれていないこと
- リヤシートの背もたれを前に倒していること

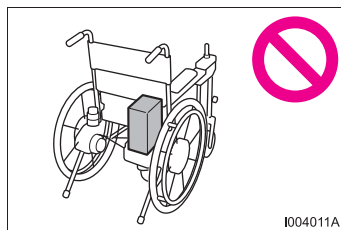
■ バッテリー〈補機バッテリー〉あがりを防ぐために

車いす収納装置の操作をするときは、エンジンをかけて〈ハイブリッドシステムを作動状態にして〉おいてください。

エンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止した状態で操作すると、バッテリー〈補機バッテリー〉あがりの原因になります。

■ 電動車いすをご使用の方へ

- 車いす収納装置に電動車いすを収納する場合は、必ず電動車いすのバッテリーを取りはずしてください。バッテリーがはずれて落下したり、不意に車いすが動き出し車いす収納装置や車いすを破損させるおそれがあります。



- 電動車いすのバッテリーは高温にならない場所に保管してください。バッテリーの劣化が促進されます。(詳しくは電動車いすの取扱説明書を参照してください)

車いすの固定について

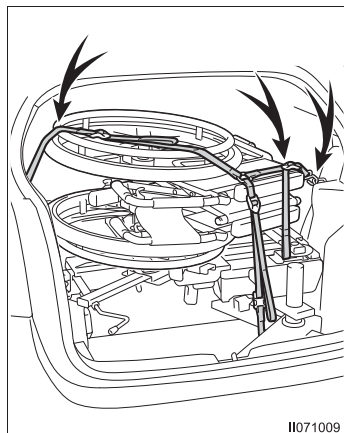


警告

■ 車いす・車いす収納装置の固定確認

確実に固定されているか確認してください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込んだり、車いすが動いて車両や車いすが損傷するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

また、車いす固定ベルトにねじれがないことも確認してください。



車いす収納装置の 操作方法

2

2-1. 基本操作	
操作の流れ	22
2-2. 車いすの収納・固定	
車いすを車内に 収納するときは	24
車いすを車外に出すときは	35

操作の流れ

安全な場所で、まわりに注意して操作をしてください。

操作はすべて介助の方が行ってください。

車いす収納装置を操作する前に

- 操作前に車両を以下の場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバー／シフトポジションをPの位置にしてください。
 - ・安全で平坦な場所（→ P. 24, 35）
 - ・車両後方に十分なスペースがあり、障害物や段差がない場所（→ P. 34）
- 操作前に次の状態を確認します。
 - ・エンジンはかけたまま〈ハイブリッドシステムを作動状態のまま〉にしていること
 - ・バックドアが全開にされていること
 - ・リヤシートの背もたれが前に倒されていること
 - ・作動範囲内に荷物などが置かれていないこと
 - ・車いす固定ベルトが引っかかかっていないこと

車外への出しかた

① スライド

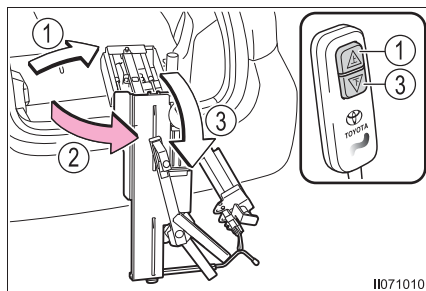
操作スイッチの「上」を押して作動させます。

② 回転

手で回転させます。

③ 下降

操作スイッチの「下」を押して作動させます。



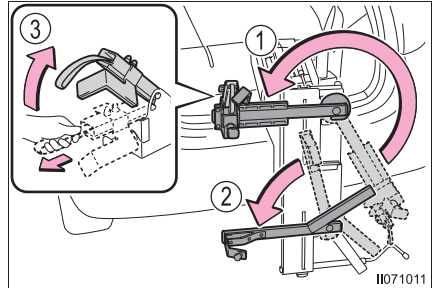
11071010

車いすのセットのしかた

- 1 車いす収納装置を次の状態にする

- ① 車いす吊上げアームを開く
- ② 大車輪固定アームを開く
- ③ 車いす開き防止バーを引き上げる

ストラップを引いてロックを解除してください。



- 2 車いすをセットする

車内への入れ方

- ① 上昇

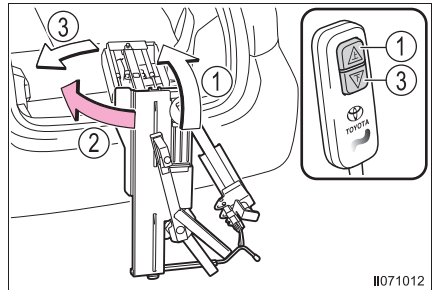
操作スイッチの「上」を押して作動させます。

- ② 回転

手動で回転させます。

- ③ スライド

操作スイッチの「下」を押して作動させます。



車いすを車内に収納するときは

車いすを収納するときは次のように行ってください。

操作はすべて介助の方が行ってください。

収納可能な車いすについては、P. 11 の「収納可能な車いすのサイズ」を参照してください。

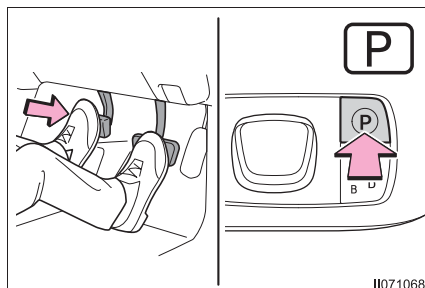
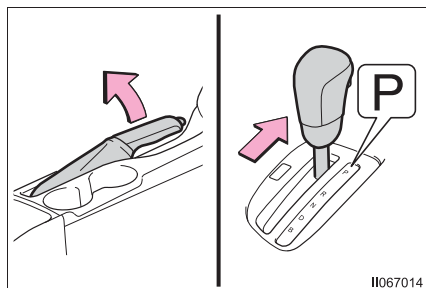
車いす収納装置を車外に出すときは

- 1 安全で平坦な場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバー／シフトポジションを P の位置にする

エンジンをかけたまま〈ハイブリッドシステムを作動状態のまま〉にしておきます。

▶ タイプ A (ヤリス)

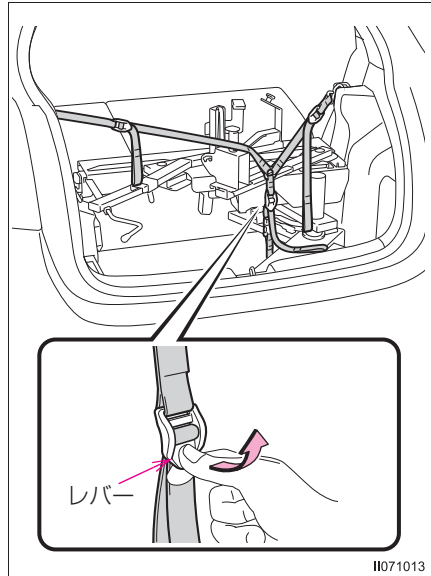
▶ タイプ B (アクア)



- 2 車両後方に十分なスペースがあることを確認する (→ P. 34)
- 3 バックドアを全開にする
- 4 リヤシートの背もたれを前に倒す (→標準車取扱書の『リヤシート』)

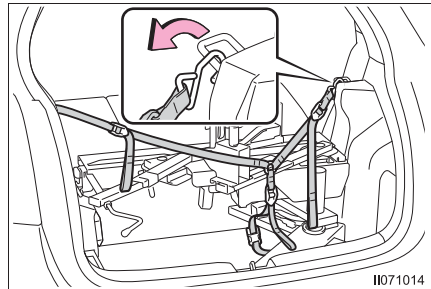
- 5 中央の車いす固定ベルトをゆるめる

バックルのレバーを引き上げて、十分にのばしてください。



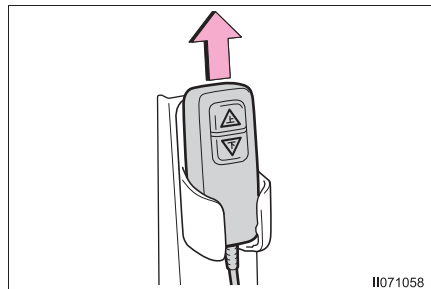
- 6 右側のリヤシートの背もたれ固定フックから、車いす固定ベルトのフックを取りはずす

- ・ 取りはずした車いす固定ベルトは、デッキボードの上に置いてください。
- ・ 車いす収納装置の上や作動範囲内に荷物などが置かれていないこと



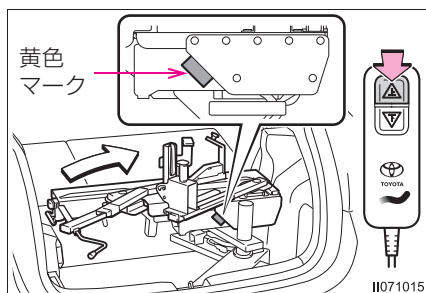
- 7 車いす収納装置に車いす固定ベルトが引っかかっていることを確認する

- 8 操作スイッチをリモコンホルダーから取り出す



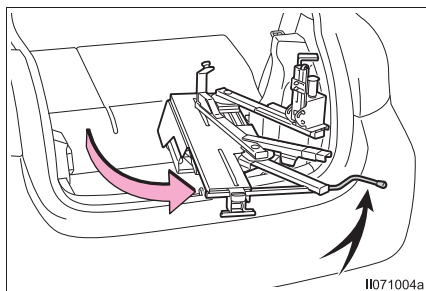
- 9 操作スイッチの「上」を押し続け、車いす収納装置をいちばん右まで、スライドさせる

- ・ 停止するまでスイッチを押してください。
- ・ 黄色マークが見えていることを確認してください。



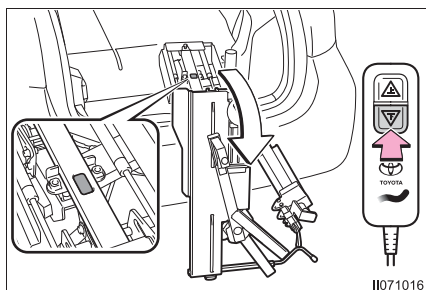
- 10 車いす収納装置の操作ハンドルを持ち、車外に向かって回転させる

止まるまで回転させてください。



- 11 操作スイッチの「下」を押し続け、車いす収納装置を車外に出す

- ・ 車いす収納装置の動きが停止したらスイッチから指を離してください。
- ・ ベルト確認用窓から黄色いベルトが見えたら、それ以上スイッチを押さないでください。(→ P. 51)

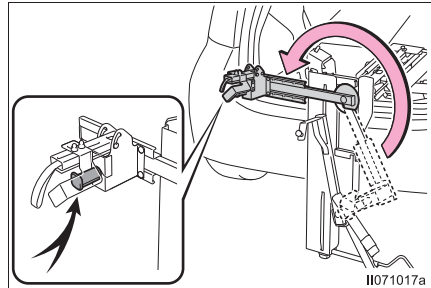


- 12 操作後、操作スイッチをリモコンホルダーにもどす
スイッチ面を表向きにして収納してください。

車いすのセットのしかた

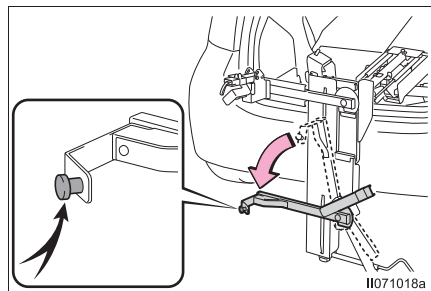
1 車いす吊上げアームを開く

車いす吊上げフックを持って左に回転させてください。



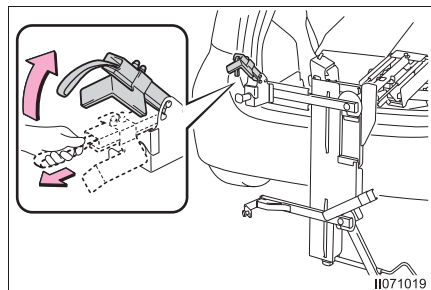
2 大車輪固定アームを開く

大車輪ストッパーのハンドルを持って左に回転させてください。



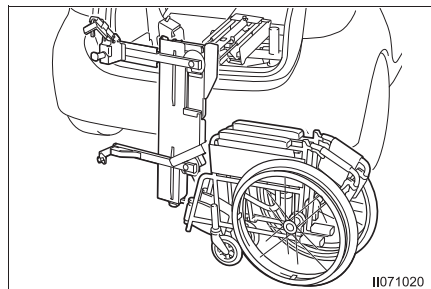
3 車いす開き防止バーを引き上げる

ストラップを引いてロックを解除してください。



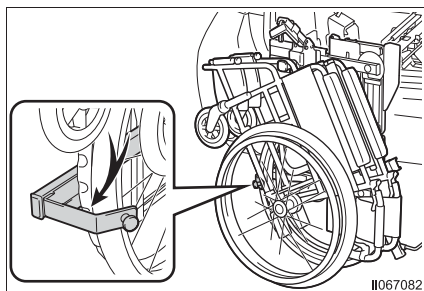
4 車いす右側の後輪を車いす収納装置に向けた状態で折りたたむ

車いすの折りたたみ方については、お使いの車いすの取扱説明書をご覧ください。



- 5 車いすの前輪側を持ち上げて、車いす右側の後輪を大車輪ストッパーにあてる

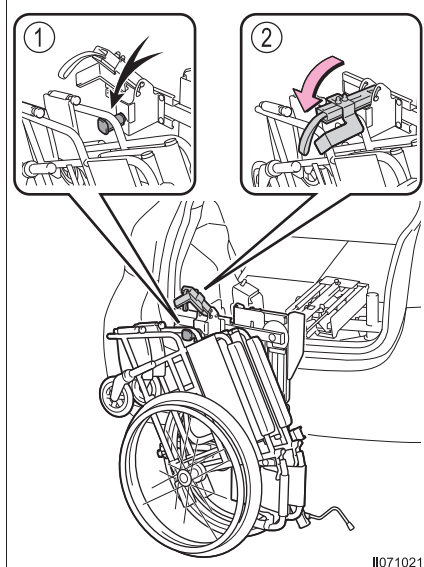
車いすの手押しハンドルを折りたたまないで前輪側を持ち上げた場合、車内に入れる前には手押しハンドルをたたんでください。(→ P. 31)



- 6 車いす収納装置に車いすをセットする

- ① 車いす吊上げフックに右側の車いす前側フレームを引っかける
- ② 車いすが広がらないように手を添えながら、車いす開き防止バーを下げる

車いすが確実に固定されていることを確認してください。

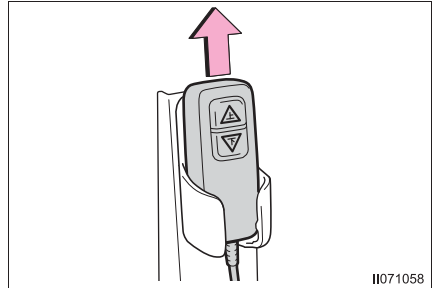


- 7 車いすのブレーキを両輪ともかける

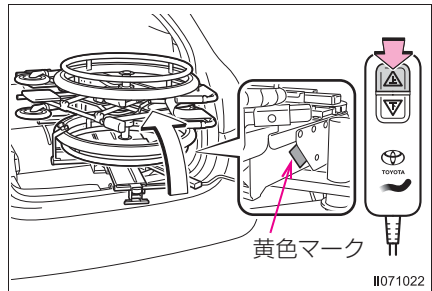
車いすのブレーキのかけ方については、お使いの車いすの取扱説明書をご覧ください。

車いすを車内に入れるときは

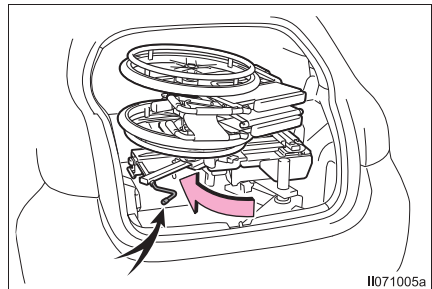
- 1 操作スイッチをリモコンホルダーから取り出す



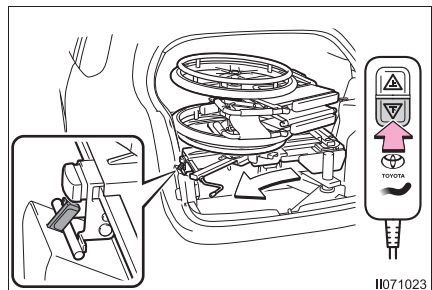
- 2 操作スイッチの「上」を押し続け、車いす収納装置を車内に格納する
- ・ 停止するまでスイッチを押し続けてください。
 - ・ 黄色マークが見えていることを確認してください。



- 3 車いす収納装置の操作ハンドルを持ち、車内に向かって回転させる
- ・ 止まるまで回転させてください。
 - ・ 回転させる前に、車いすの手押しハンドルがたたまれていることを確認してください。



- 4 操作スイッチの「下」を押し続け、車いす収納装置をいちばん左までスライドさせる
- ・ ストッパーにあたるまでスライドさせたら、スイッチから指を離してください。(→ P. 51)
 - ・ 黄色マークが見えていないことを確認してください。



- 5 操作後、操作スイッチをリモコンホルダーにもどす
- スイッチ面を表向きにして収納してください。

車いすの固定のしかた

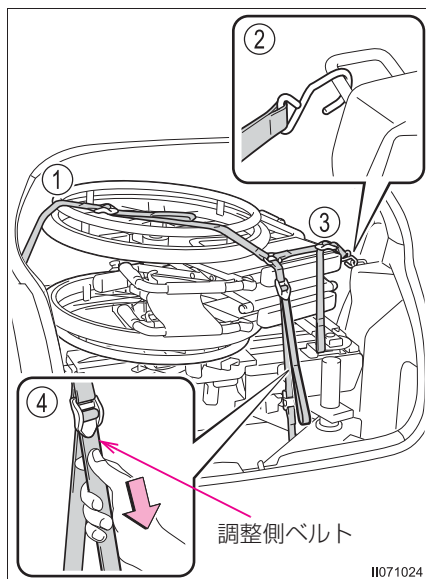
車いす固定ベルトを使用して車いすを固定します。

ベルトは次の場所を目安に引っかけてください。

車いすを固定する前に、車いす固定ベルトの調整を行ってください。

(→ P. 15)

- ① 左側の車いす固定ベルトが車いすに引っかかっていることを確認する
- ② 車いす固定ベルトのフックを右側のリヤシートの背もたれ固定フックに引っかける
- ③ 右側の車いす固定ベルトが車いすに引っかかっていることを確認する
- ④ 中央の車いす固定ベルトの調整側ベルトを引っ張り、車いすを確実に固定する



固定後、走行する前に

バックドアを閉める

- ・ バックドアを閉めるときは、車いすを挟み込まないこと、および車いす収納装置や車いすの手押しハンドルなどがリヤウインドウガラスにあたらないことを確認しながら、ゆっくりと閉めてください。
- ・ ただちに走行しないときはエンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止します。

知識

■ 車いす収納装置が動かないときは

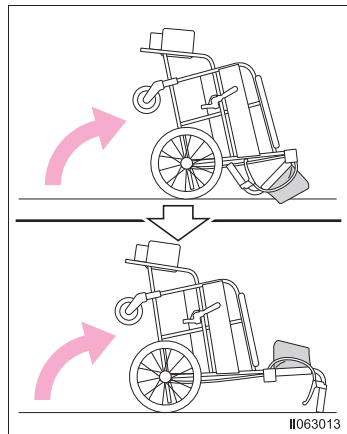
- 操作スイッチを押しても動かないときは、車いす収納装置が完全に回転していることを確認してください。(→ P. 49)
- 連続して何度も車いす収納装置の操作を行うと、モーターが過熱して作動しなくなることがあります。この場合は、10分以上待ってから再度操作してください。

■ 車いすの出し入れについて

車いすの種類によっては、出し入れの際に車いすの背もたれが地面に触れ、汚れる場合があります。

その場合は、手押しハンドルをたたまないで出し入れさせることにより、手押しハンドルは汚れませんが背もたれが地面にあたるのを防ぐことができます。

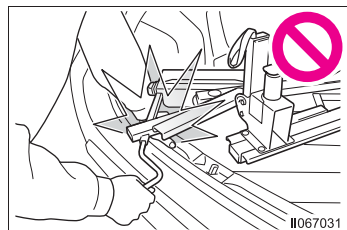
車いすを収納するときは、車内に向かって回転させる前に手押しハンドルをたたんでください。(→ P. 29)



警告

■ 車いす収納装置を操作するときは

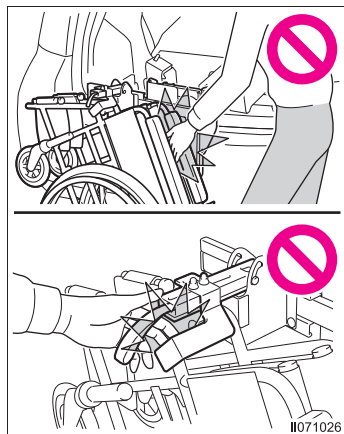
- 可動部付近に手を置かないでください。操作時に車いす収納装置と車両のあいだに手を挟み、けがをすることがあります。



- 車いすを車いす収納装置にセットするときは、使用する車いすに合わせて、車いす収納装置の調整をしてください。(→ P. 10)
調整をしていないと車いすの固定がはずれ、車いすが不意に脱落してけがをしたり、車いすが破損したりするおそれがあります。

警告**■ 車いすを収納するときは**

- 手などを挟んだり、車いすや車両に体があたらないように注意してください。
- 車いす収納装置に車いすをセットするとき、車いすのームレスト部や車いす開き防止バーで指を挟まないように注意してください。



- 車いす収納装置で車いすを収納したあとは、必ず車いす固定ベルトで確実に固定してください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込んだり、車いすが動いて車両や車いすが損傷するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。(→ P. 19)

■ 車いすを固定したときは

固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに車いすが車室内にとび込み、重大な事故につながるおそれがあり危険です。

■ 車いすを固定・解除するときは

車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。
車いすが倒れて体にあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ 車いすを収納する前に**

- 車いす収納装置には車いす以外のものをのせたり、荷物などを置かないでください。
操作時にのせたものが落下して車両を損傷したり、故障したりするおそれがあります。
- 車いすを収納する際、P. 11 の「収納可能な車いすのサイズ」の条件を満たしていることを確認してください。
車いす収納装置の故障および車いすの収納・固定が困難になり、車両を傷付けるおそれがあります。
- 車いすを収納する前に、必ずバックドアが全開になっていることを確認してください。
全開になっていないと、車いす収納時、バックドアと車いすが干渉し、損傷するおそれがあります。

■ 車いすを収納・固定するときは

- 車いす固定ベルトにねじれがないこと、および鋭利な角部にあたっていないことを確認してください。
正しくかけないとベルトが切れるおそれがあります。
- 固定後、車いすを前後左右にゆすり確実に固定されていることを確認してください。
バックドアを閉めるときや走行中に車いすがリヤウインドウガラスなどにあたり、損傷するおそれがあります。
- バックドアはゆっくりと閉めてください。
バックドアをいきおいよく閉めると、車いすや車いす収納装置がリヤウインドウガラスなどにあたり、損傷するおそれがあります。
- 車いすを固定したまま長時間放置しないでください。
車いすのハンドリムが変形するおそれがあります。

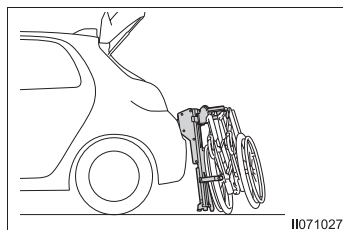
■ 車いすを固定・解除するときは

車いすを固定・解除するときは、車いすに手を添えて、車いすが動かないようにしてください。
車いすが倒れ、車いすや車両を損傷するおそれがあります。

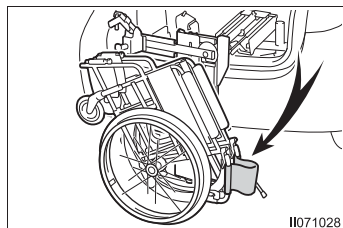
 **注意****■ 車いすを出し入れするときは**

- 障害物や段差がない場所で行ってください。
車いす収納装置を出した先に障害物や段差がある場合、車いす収納装置や車いすを損傷したり、車いすがはずれて落下したりするおそれがあります。

- 車いす収納装置を車外へ出したり収納したりするときは、車両後方と地面とのあいだに十分なスペースがあることと、平坦な場所であることを確認してください。



- 車いすのサイズによっては、セットするときに背もたれが地面にあたるおそれがあります。(→ P. 11)



- 後輪が小さい車いすなどは、車いす収納装置にセットするときや車外に出すときに、背もたれが地面にあたり、汚れたり傷ついたりするおそれがあります。(→ P. 31)

車いすを車外に出すときは

車いすを車外に出すときは次のように行ってください。

操作はすべて介助の方が行ってください。

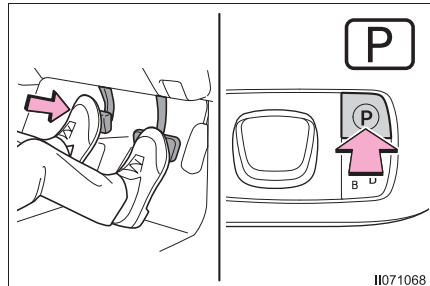
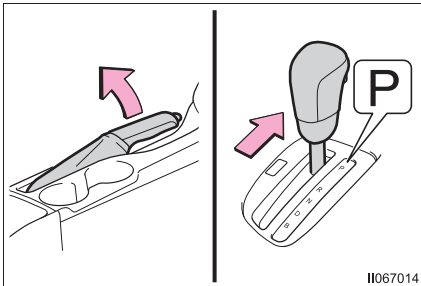
車いすを車外に出すときは

- 1 安全で平坦な場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバー／シフトポジションをPの位置にする

エンジンをかけたまま（ハイブリッドシステムを作動状態のまま）にしておきます。

▶ タイプ A（ヤリス）

▶ タイプ B（アクア）

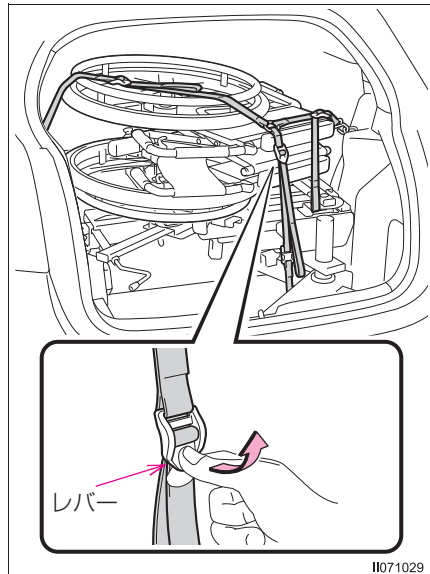


- 2 車両後方に十分なスペースがあることを確認する（→ P. 34）

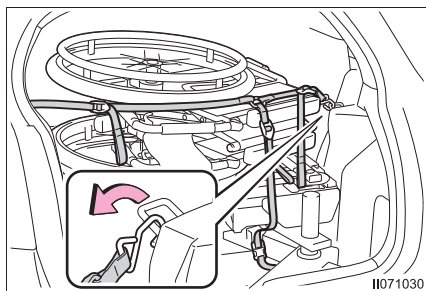
- 3 バックドアを全開にする

- 4 中央の車いす固定ベルトをゆるめる

バックルのレバーを引き上げて、十分にのばしてください。

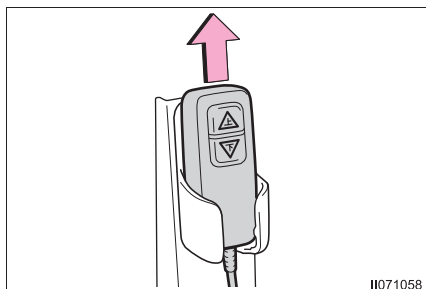


- 5 車いす固定ベルトのフックを右側のリヤシートの背もたれ固定フックから取りはずす
- ・取りはずした車いす固定ベルトは、デッキボードの上に置いてください。
 - ・作動範囲内に荷物などが置かれていないこと



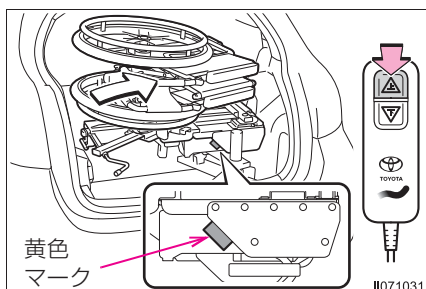
II071030

- 6 車いす収納装置に車いす固定ベルトが引っかかっていることを確認する
- 7 操作スイッチをリモコンホルダーから取り出す



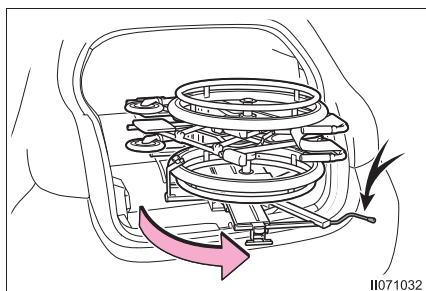
II071058

- 8 操作スイッチの「上」を押し続け、車いす収納装置をいちばん右まで、スライドさせる
- ・停止するまでスイッチを押してください。
 - ・黄色マークが見えていることを確認してください。



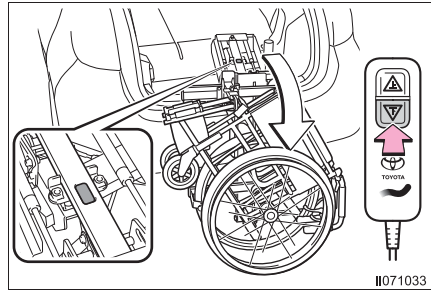
II071031

- 9 車いす収納装置の操作ハンドルを持ち、車外に向かって回転させる
- 止まるまで回転させてください。



II071032

- 10** 操作スイッチの「下」を押し続け、車いす収納装置を車外に出す
- ・ 車いすの後輪が地面についたら、スイッチから指を離してください。
 - ・ ベルト確認用窓から黄色いベルトが見えたら、それ以上スイッチを押さないでください。(→ P. 51)
 - ・ 車いすの背もたれが地面にあたるのを防止したいときは、車いすの手押しハンドルを開いた状態にしてください。(→ P. 31)



- 11** 操作後、操作スイッチをリモコンホルダーにもどす
スイッチ面を表向きにして収納してください。

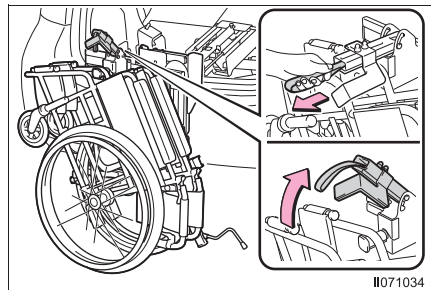
車いすの解除のしかた

- 1** 車いすのブレーキを両輪とも解除する

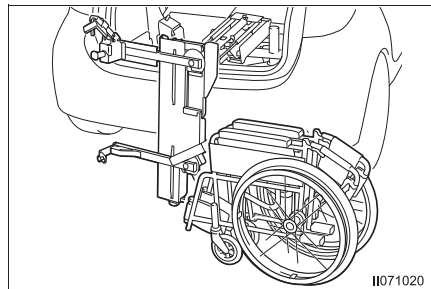
車いすのブレーキの解除については、お使いの車いすの取扱説明書をご覧ください。

- 2** 車いすを支えながら、車いすと車いす収納装置を解除する

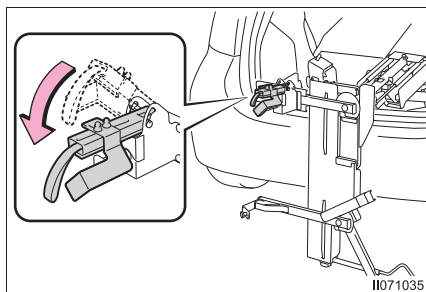
- ① 車いすが広がらないように手を添えながら、ストラップを引く
- ② 車いす開き防止バーを引き上げる



- 3** 車いすの前輪側を地面におろす

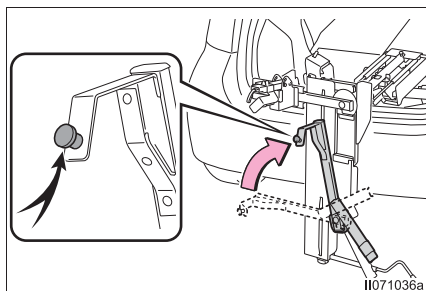


4 車いす開き防止バーを下げる



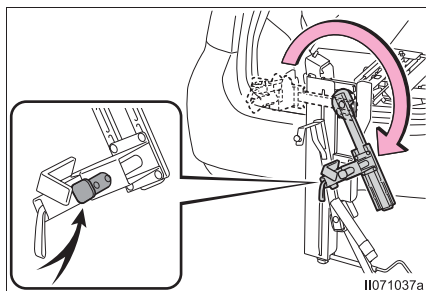
5 大車輪固定アームをたたむ

- ・ 大車輪ストッパーのハンドルを持って右に回転させてください。
- ・ リヤシートの背もたれを前に倒したままにしておく、アームをたたまないで車いす収納装置を車内にもどすことができます。
(→ P. 41)



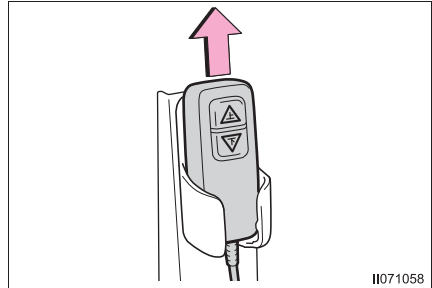
6 車いす吊上げアームをたたむ

- ・ 車いす吊上げフックを持って右に回転させてください。
- ・ リヤシートの背もたれを前に倒したままにしておく、アームをたたまないで車いす収納装置を車内にもどすことができます。
(→ P. 41)

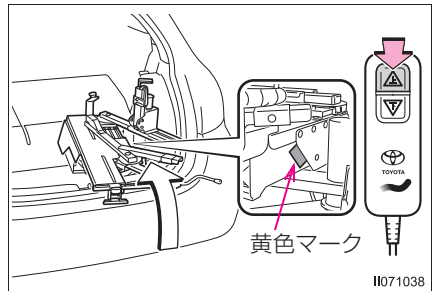


車いす収納装置を車内にもどすときは

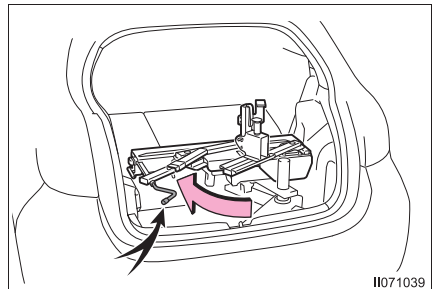
- 1 操作スイッチをリモコンホルダーから取り出す



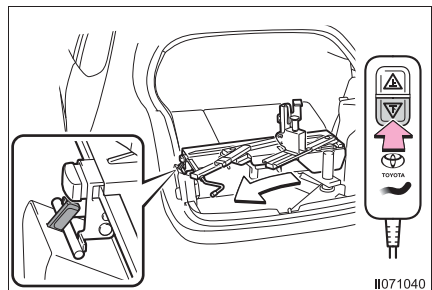
- 2 操作スイッチの「上」を押し続け、車いす収納装置を車内に格納する
- ・ 停止するまでスイッチを押し続けてください。
 - ・ 黄色マークが見えていることを確認してください。



- 3 車いす収納装置の操作ハンドルを持ち、車内に向かって回転させる
- 止まるまで回転させてください。



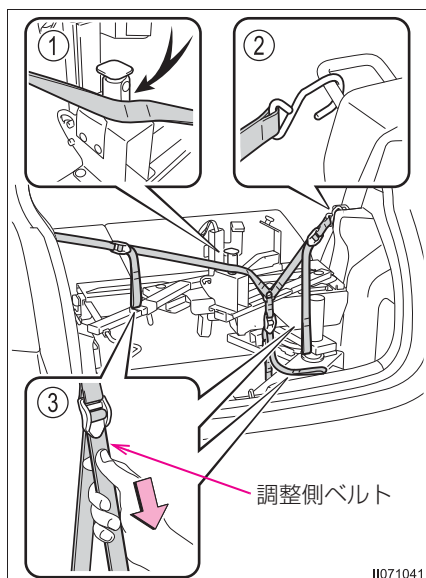
- 4 操作スイッチの「下」を押し続け、車いす収納装置をいちばん左までスライドさせる
- ・ ストッパーにあたるまで車いす収納装置をスライドさせたら、スイッチから指を離してください。(→ P. 51)
 - ・ 黄色マークが見えていないことを確認してください。



- 5 操作後、操作スイッチをリモコンホルダーにもどす
- スイッチ面を表向きにして収納してください。

6 車いす固定ベルトで車いす収納装置を固定する

- ① 車いす吊上げフックに、左側の車いす固定ベルトがかかっていることを確認する
- ② 車いす固定ベルトのフックを右側のリヤシートの背もたれ固定フックに引っかける
- ③ すべての車いす固定ベルトの調整側ベルトを引っ張る



7 リヤシートの背もたれを起こす (→標準車取扱書の『リヤシート』)

車いす吊上げアームと大車輪固定アームをたたまないで、車いす収納装置を車内にもどした場合は、リヤシートの背もたれを起こさないでください。(→P. 41)

8 バックドアを閉める

ただちに走行しないときはエンジン〈ハイブリッドシステム〉を停止してください。

 知識

■ 車いす収納装置が動かないときは

→ P. 31

■ 車いすの出し入れについて

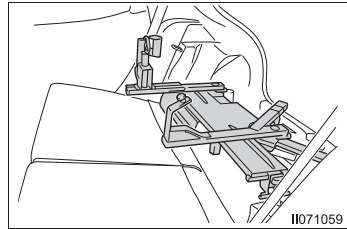
→ P. 31

■ 車いすを頻繁に出し入れするときは

リヤシートの背もたれを前に倒したままにしておくと、車いす吊上げアームと大車輪固定アームをたたまないで、車いす収納装置を車内にもどすことができ、車いすを頻繁に出し入れするときなどに便利です。

アームをたたまないで車いす収納装置を車内にもどした場合は、リヤシートの背もたれを起こさないでください。(→ P. 42)

そのまま走行する場合は、車いす固定ベルトで固定してください。



■ 車いすを収納・固定しないときは

- 車いす固定ベルトのフックを右側のリヤシートの背もたれ固定フックに引っかけてください。

車いす収納装置操作時に引っかかったり、バックドアに挟まれたりすることを防止することができます。

- 車いす収納装置を車内にもどしたあとは、車いす固定ベルトで固定してください。

固定することにより、走行中の車いす収納装置の音や振動を防止することができます。

 警告

■ 車いす収納装置を操作するときは

→ P. 31

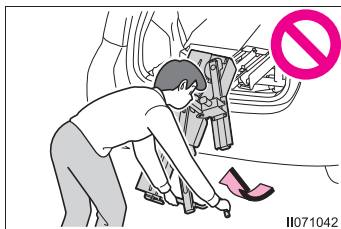
■ 車いすを固定・解除するときは

→ P. 32

⚠ 注意

■ 故障・損傷を防ぐために

- 緊急時以外は、車いす収納装置を手動で格納しないでください。
手動で格納すると、故障の原因になるおそれがあります。

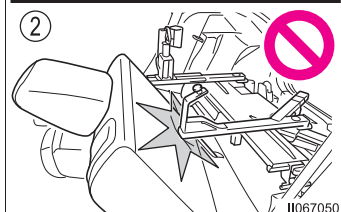
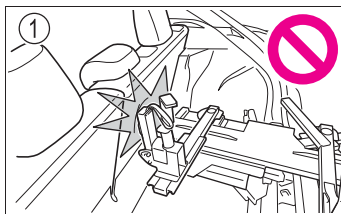


- 車いす収納装置の車いす吊上げアームと大車輪固定アームがリヤシートの背もたれにあたらないことを確認してください。リヤシートにアームがあたり破損するおそれがあります。

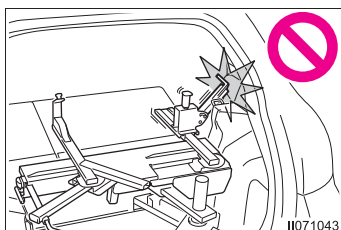
- ① リヤシートの背もたれを起こしている場合：

アームを開いたまま、車いす収納装置を車内にもどさないでください。

- ② アームを開いたまま車いす収納装置を格納している場合：
リヤシートの背もたれを起こさないでください。



- 車いす収納装置を車内にもどすときは、車いす開き防止バーを起こしてください。倒している状態だと、車両とあたり破損するおそれがあります。



■ 車いすを出し入れするときは

→ P. 34

■ 車いすを固定・解除するときは

→ P. 33

万一の場合には

3

3-1. パンクしたときは

タイヤパンク応急修理キットの 取り出し.....	44
工具の取り出し.....	45

3-2. 故障かな？と

お考えになる前に

ヒューズの交換.....	47
車いす収納装置が 動かないときは.....	49

3-3. 緊急時の対処法

車いす収納装置が 車外に出た状態で 動かないときは.....	53
--------------------------------------	----

タイヤパンク応急修理キットの取り出し

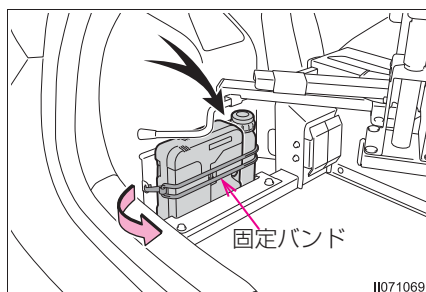
タイヤパンク応急修理キットは、車いす収納装置のベースフレーム左側に装備されています。

使用方法は標準車と同様ですので、標準車取扱書の『パンクしたときは（タイヤパンク応急修理キット装着車）』を参照してください。

タイヤパンク応急修理キットの収納場所

車いす収納装置の右図の場所に収納されています。

使用するときは、固定バンドをはずし、タイヤパンク応急修理キットを取りはずしてください。



工具の取り出し

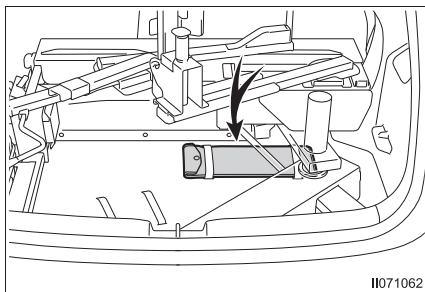
車いす収納装置の下にあるデッキボードに、工具袋が装備されています。また、デッキボードには停止表示板を収納することもできます。ジャッキを取り出すときは、操作スイッチとリモコンホルダーを取り外してください。

工具袋の収納場所

デッキボードの下図の場所に工具袋が収納されています。

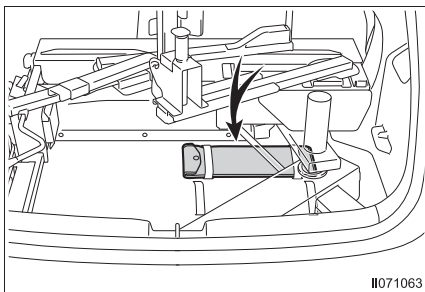
収納するときは2つのゴムバンドで固定してください。

▶ タイプ A (ヤリス)



II071062

▶ タイプ B (アクア)



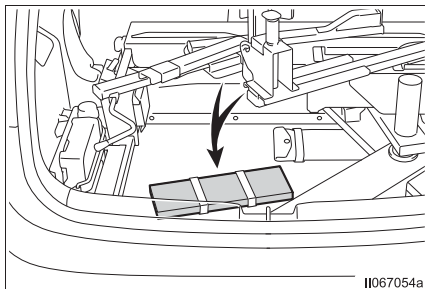
II071063

停止表示板収納スペース

デッキボードの下図の場所に停止表示板を収納することができます。

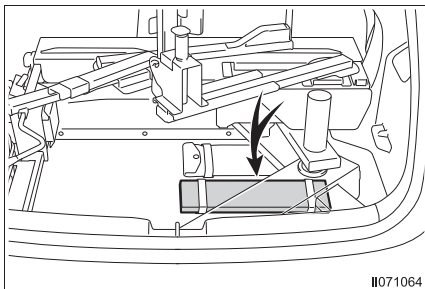
- ・ 収納するときは2つのゴムバンドで固定してください。
- ・ 停止表示板のケースの大きさや形状によっては、収納できない場合があります。

▶ タイプ A (ヤリス)



II067054a

▶ タイプ B (アクア)



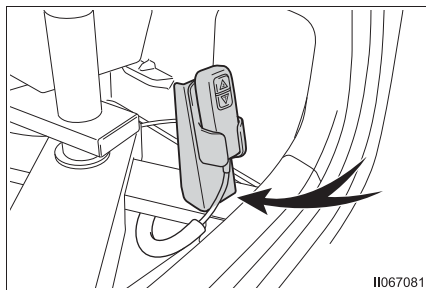
II071064

ジャッキの取り出し方

ジャッキを取り出すときは、以下の手順で取り出してください。
ジャッキはトヨタ販売店で購入することができます。詳しくは販売店におたずねください。

- 1 操作スイッチおよびリモコンホルダー取り付け部をベースフレームから取りはずす

リモコンホルダー取り付け部は面ファスナーで取り付けられています。



- 2 カバーをはずしジャッキを取り出す（→標準車取扱書の『パンクしたときは（応急用タイヤ装着車）』）
- 3 ジャッキを格納したあとは、操作スイッチおよびリモコンホルダー取り付け部をもとにもどす

リモコンホルダー取り付け部をベースフレームに押さえ付けるように取り付け、固定されていることを確認してください。

ヒューズの交換

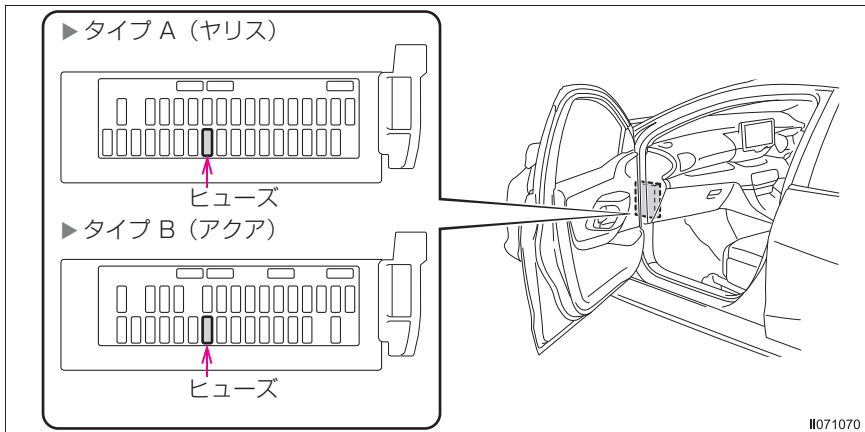
操作スイッチを押しても車いす収納装置が動かないときは、ヒューズ切れが考えられます。

ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

ヒューズ位置

■ 助手席側ヒューズボックス

ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱書の『ヒューズの点検・交換』をお読みください。



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
DOOR F/L	20 A	車いす収納装置

 知識

■ ヒューズを交換したあとは

次の場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換しても車いす収納装置が動かないとき

 警告

■ 車の故障や火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しない
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用する
- ヒューズやヒューズボックスを改造しない

車いす収納装置が動かないときは

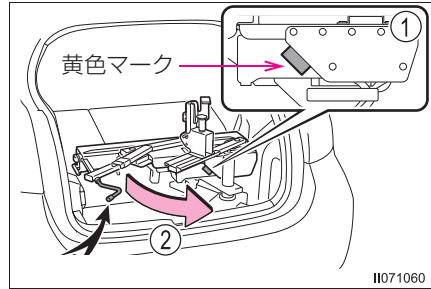
車いす収納装置が動かない場合は、次のことを確認してください。

作動条件の確認

■ 車いす収納装置を車外に出すときは

次の状態を確認してください。

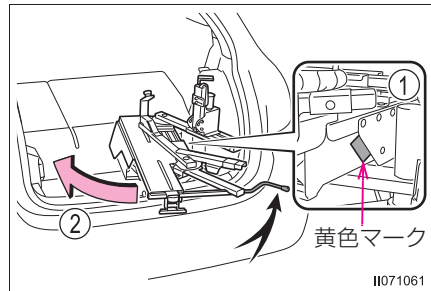
- ① 黄色マークが見えていること
いちばん右までスライドさせてください。
- ② 完全に回転していること
車外に向かって回転させてください。
完全に回転させないと作動しません。



■ 車いす収納装置を車内にもどすときは

次の状態を確認してください。

- ① 黄色マークが見えていること
止まるまで回転させてください。
- ② 完全に回転していること
車内に向かって回転させてください。
完全に回転させないと作動しません。



ヒューズの点検・交換

作動条件を確認後、スイッチを押しても車いす収納装置が動かないときは、ヒューズを点検・交換してください。(→ P. 47)

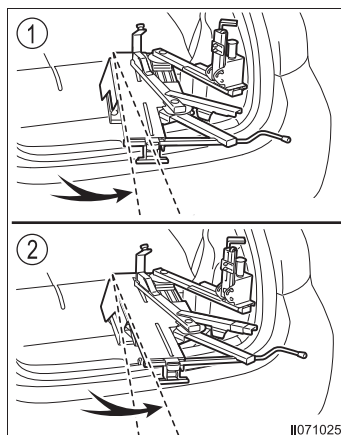
 知識

■ 車いす収納装置の回転について

- 車いす収納装置が水平の状態から車外へ下降させるまでのあいだの位置で、車内側に回転させてしまうと、操作スイッチを押しても車外へ下降させることができなくなります。

車いす収納装置が完全に車外に回転していることを確認してください。

- ① 車内側に回転させてしまった場合：
車内へ格納する方向には作動しますが、
車外へ下降する方向には作動しません。
- ② 完全に車外に回転している場合：
車内へ格納・車外へ下降のどちらにも作動します。



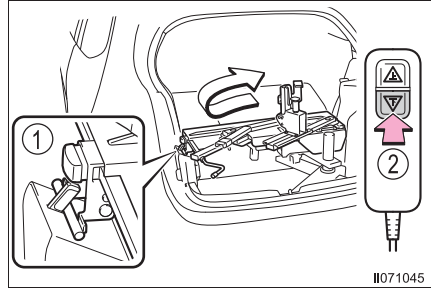
車いす収納装置の作動逆転について

次のどちらかの操作をすると、すべての作動が操作スイッチと反対になります。

■ 車内にもどしているとき (スライド作動時)

- ① ストッパーに車いす収納装置があたっている
- ② さらに操作スイッチの「下」を押し続ける

車いす収納装置が右にスライドし始めたら作動が逆転しています。



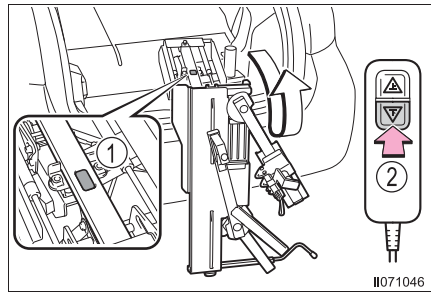
■ 車外に出しているとき (上昇・下降作動時)

- ① ベルト確認用窓から黄色いベルトが見えてくる

黄色いベルトは車いす収納装置の振出し端であることを示します。

- ② 黄色いベルトが出てきたあとも、さらに操作スイッチの「下」を押し続ける

車いす収納装置が格納し始めたら作動が逆転しています。



車いす収納装置の正常な作動へのもどし方

もう一度、「車内にもどしているとき」か「車外に出しているとき」のどちらかの状態で操作スイッチを押し続け、作動を逆転させてください。次の状態になると正常な状態になります。

作動状況	操作スイッチ	
	「下」を押す	「上」を押す
車内にもどしているとき (スライド作動時)	左にスライドする	右にスライドする
車外に出しているとき (上昇・下降作動時)	車いす収納装置が 車外に出る	車いす収納装置が 車内にもどる

操作スイッチを押しても動かない場合

- 車いす収納装置の作動が逆転しかけている場合、最大約 1 分間、操作スイッチを押し続けないと作動しません。
- 操作スイッチを押し続けているときに、ベルト確認用窓の中のベルトが動いていない場合は、ただちに操作を中止して、トヨタ販売店にご相談ください。

操作している途中で停止する場合

車いす収納装置を操作している途中で停止したり、何かに引っかかるような動きをする場合、内部の部品に問題があるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても動かない場合

トヨタ販売店で点検を受けてください。

車いす収納装置が車外に出た状態で動かないときは

万一、車いす収納装置を車外に出ている状態でもどせなくなったときは、バックドアを閉めることができません。
ヒューズを点検・交換（→ P. 47）しても動かない場合は、この項目に記載されている要領で車内に格納して、トヨタ販売店で点検を受けてください。

用意するもの

車いす収納装置を手動で格納するときは、車内を傷などから保護するために布などをご用意ください。

車いす収納装置を車内にもどす前に

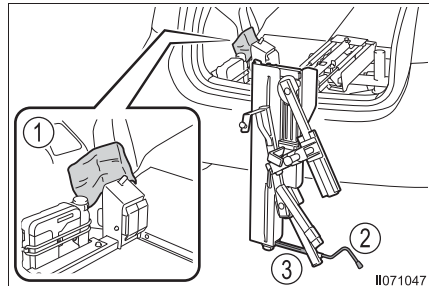
操作前に、次の状態を確認してください。

- バックドアが全開になっていること
- 作動範囲内に荷物などが置かれていないこと
- 車いす収納装置に車いすがセットされている場合、車いすのセットを解除して外に出す
- 車いす吊上げアームと大車輪固定アームがたたまれていること

車いす収納装置の手動での格納のしかた

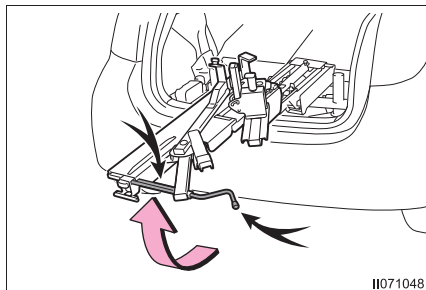
1 布などを用意して図の位置を両手で持つ

- ① ベースフレーム左側を目安に布などを用意する
- ② 右手で操作ハンドルを持つ
- ③ 左手で下側の中央部分を持つ



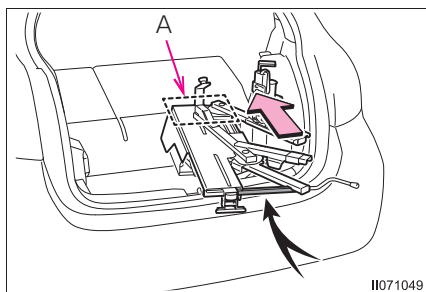
- 2 車いす収納装置が、水平になるまで持ち上げられることを確認する

- ・無理な力をかけずに、持ち上げてください。
- ・水平に持ち上げられなかった場合は、P. 55の「水平に持ち上げられない場合の手動での格納のしかた」をご確認ください。



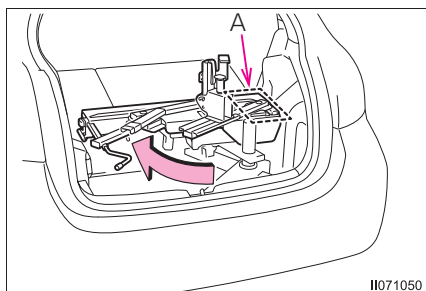
- 3 水平に持ち上げたまま、車内に押し込む

- ・操作ハンドルから右手を離して、車いす収納装置の「A」部を押し込んでください。
- ・押し込めなくなったら、必要以上に押さえ付けしないでください。



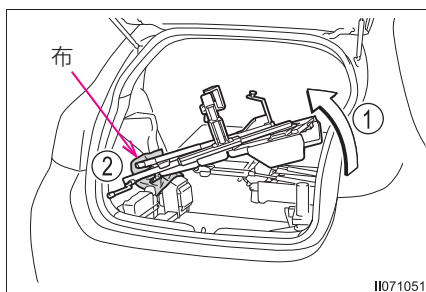
- 4 「A」部を押し込みながら、車内に向かって回転させる

車いす収納装置が跳ね上がろうとするので、手を離さないでください。



- 5 車いす収納装置を跳ね上げた状態にする

- ① 手のちからをゆっくり抜いて、跳ね上げた状態にする
- ② 車いす収納装置を車内左側にあて、動かないことを確認する
先端に布などを挟み、車内を保護してください。



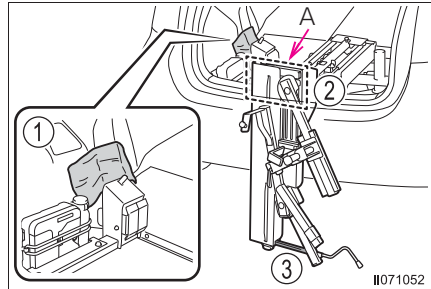
水平に持ち上げられない場合の手動での格納のしかた

完全に車外に出ていない位置で動かなくなった場合は、車いす収納装置を水平に持ち上げることができないおそれがあります。

その場合は、次の手順で格納してください。

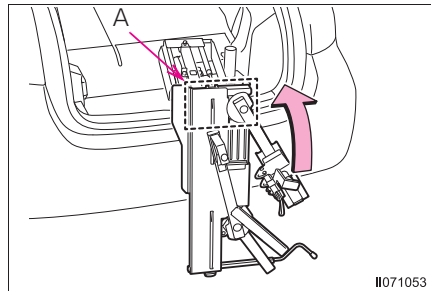
- 1** 布などを用意して図の位置を両手で持つ

- ① ベースフレーム左側を目安に布などを用意する
- ② 図の「A」部に右手を添える
- ③ 左手で下側の中央部分を持つ



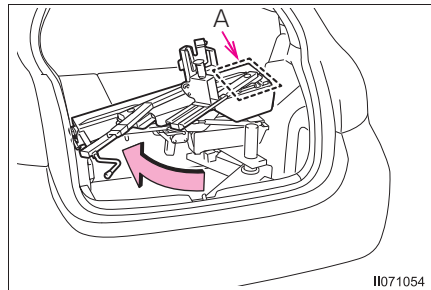
- 2** 車いす収納装置を車内に押し込む

- ・ 車いす収納装置の「A」部を押し込んでください。
- ・ 押し込めなくなったら、必要以上に押さえ付けないでください。



- 3** 「A」部を押し込みながら、車内に向かって回転させる

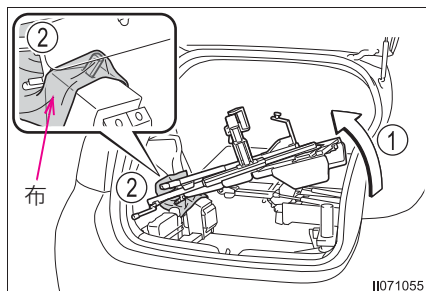
車いす収納装置が跳ね上がろうとするので、手を離さないでください。



4 車いす収納装置を跳ね上げた状態にする

- ① 手のちからをゆっくり抜いて、跳ね上げた状態にする
- ② 車いす収納装置が動かないことを確認する

先端に布などを挟み、車内とストッパーを保護してください。



II071055

知識

■手動格納時のベルトについて

車いす収納装置を手動で格納した場合、車いす収納装置内のベルトがゆるんで外に出ている状態になります。

トヨタ販売店で点検を受ける際には、ベルトの確認もご依頼ください。

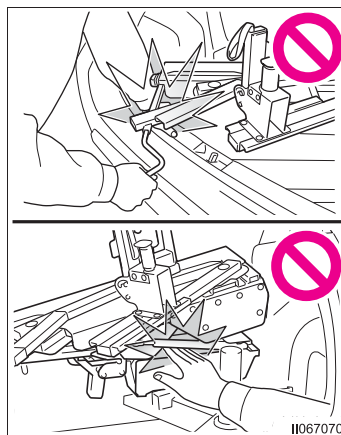
警告

■修理が完了するまでは

車いす収納装置を使用しないでください。

■車いす収納装置を操作するときは

車いす収納装置を手動で格納するときは、可動部付近に手を置かないでください。操作時に装置と車両のあいだに手を挟み、けがをするおそれがあります。



II067070

 **注意****■ 車いす収納装置を手動で車内に格納するときは**

車いす収納装置を手動で格納した場合、車いす収納装置内のベルトが緩んで外に出ている状態になります。
ベルトを挟み込まないように注意しながら格納してください。

■ 破損・損傷を防ぐために

車いす収納装置を手動で格納した場合は、装置は完全に格納されません。
この状態で上から押さえ付けたり荷物を置いたりしないでください。
内部の部品が変形し、故障の原因になります。



点検・整備項目

4

4-1. 点検・整備項目

定期点検整備..... 60

定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために、定期点検整備をお願いします。
点検結果を記録する際には、巻末の記録簿を A4 サイズにコピーして使
用してください。

点検整備項目		点検時期			交換時期(年)	備考
		日常点検	自家用車			
			12か月ごと	24か月ごと		
車いす 収納装置	操作時の異常な動き・振動・異音	○	○			
	駆動ベルト、ストラップの傷・ほつれ	○	○			ほつれが始まったら交換
	ダンパーの油漏れ		○			
	摺動部のグリス潤滑状態		○			引っかかり・異音がある場合、必要に応じて給油
車いす ベルト固定	ベルトの傷・ほつれ	○				ほつれが始まったら交換

※ 空欄については点検および交換の必要はありません。

さくいん

こんなときは （症状別さくいん）.....	62
五十音順さくいん.....	64

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

車いす収納装置について



回転させることができない

- 作動範囲内に荷物などが置かれていませんか？
（→ P. 18, 22, 25, 36）
- 車いす収納装置が止まるまで操作スイッチを押しましたか？
（→ P. 26, 29, 36, 39, 49）



車外に出すことができない

- 車外に向かって完全に回転させていますか？（→ P. 26, 36, 49）
- 操作の途中で、車外側から少しでも回転がもどっていませんか？
（→ P. 50）



車内に格納することができない

- 車いす収納装置に搭載できる重さをこえていませんか？
（→ P. 8, 11, 16）



車内に格納してから左にスライドできない

- 車いす収納装置を車内側へ止まるまで回転させていますか？
（→ P. 29, 39, 49）



**車いすのセット・解除ができない
車いすが干渉して格納できない**

- 所定サイズ以外の車いすを格納していませんか？（→ P. 11）
- 使用する車いすに合わせて車いす収納装置を調整していますか？（→ P. 10, 11）
- 平坦な場所で、車いすの後輪が地面につくまで車外に出していませんか？（→ P. 34）



車いす収納装置が操作スイッチと逆の動きをした

- 車外に出しているときに、ベルト確認用窓から黄色いベルトが出てきたから、さらに操作スイッチを「下」に押し続けていませんか？（→ P. 51）
- 車内にもどしているときに、ストッパーにあたってから、さらに操作スイッチを押し続けていませんか？（→ P. 51）



車いす収納装置が動かない、または作動中に停止した

- 車いす固定ベルトが引っかかっていますか？（→ P. 25）
- 操作スイッチの押しすぎにより、作動が逆転しかけていませんか？（→ P. 51）
- 連続で使用して車いす収納装置が熱くなっていませんか？（→ P. 31）
- バッテリー〈補機バッテリー〉があがっていませんか？（→ P. 18）
- ヒューズが切れていませんか？（→ P. 47）

五十音順さくいん

き

緊急時の対処法

- 車いす収納装置が車外に出た状態で動かないときは 53

<

車いす

- 解除のしかた 35
- 固定のしかた 30
- 車外に出すときは 35
- 収納可能なサイズ 11
- 収納のしかた 24
- 収納・固定しないときは 41
- 車いす固定ベルト 8
 - 解除のしかた 25, 35
 - 固定のしかた 30
 - 調整のしかた 15
 - 取り付けるときは 12

車いす収納装置

- 動かないときは 49
- 車いす固定ベルト 8
- 車いす吊上げアーム 8
- 車いす吊上げフック 8
- 車いすのセットのしかた 27
- 車いす開き防止バー 8
- 作動が逆になったときは 51
- 車外に出すときは 24
- 車外に出た状態で
 - 動かないときは 53
- 車内にもどすときは 39
- 小径タイヤ用補助プレート 10
- ストラップ 8
- 操作スイッチ 8, 9
- 操作ハンドル 8
- 大車輪固定アーム 8
- ベルト確認用窓 8
- リモコンホルダー 8
- 車いす収納装置の調整 10
- 車いすの固定について 19

こ

故障かな？とお考えになる前に	
車いす収納装置が	
動かないときは	49
ヒューズの交換	47
工具の取り出し	
工具袋の収納場所	45
停止表示板収納スペース	45
ジャッキの取り出し方	46
ご使用前に確認して	
いただきたいこと	16

し

収納可能な車いすのサイズ	11
--------------	----

そ

操作スイッチ	8, 9
--------	------

た

タイヤパンク応急修理キットの	
取り出し	44

て

定期点検整備記録簿	巻末
点検・整備項目	
定期点検整備	60

は

パンクしたときは	
工具の取り出し	45
タイヤパンク応急修理キットの	
取り出し	44

ひ

ヒューズ	
助手席側ヒューズボックス	47

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00～18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
https://toyota.jp/privacy_statement/ にて
掲載しております。

「リコール等情報」については、
<https://toyota.jp/recall/index.html> にて
掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
<https://toyota.jp>



M52L43
01999-52L43
II-2021年7月12日
2021年7月19日 初版
アクア／ヤリス
車いす収納装置